



## 潮美台に公民館を建設

生涯学習活動の拠点施設と



▲工場の安全を祈願する中田市長

して、潮美台地区に公民館が建設されます。平成十九年三月三十日の完成予定。

同地区は、約二十五年前に島内最大の住宅団地として開発され、十一月一日現在、五百十三世帯、千四百七十四人が居住しています。建設場所は、公共下水道へのつなぎ替えにより役目の終えた「潮美台下水処理センター」があった潮美台二丁目二番地三。建物は、鉄骨瓦葺平屋建

## 工場の安全を祈願

で、外観は地域の輪をイメージして丸みを帯びています。施設内部には、多目的ホールや調理室、会議室、事務所などが設置されます。

十月三十日、建設現場で工事の安全祈願祭が行われ、関係者ら約四十人が出席しました。席上、中田市長は「生涯学習の場だけでなく、地域交流、世代交流の拠点となるよう期待しています」とあいさつしました。

## 西淡社会教育センターグラウンドに防風用の柵

## 住民グループが寄贈

松帆古津路老人会グラウンドゴルフ会（波戸政義代表、二十五人）は、十月十五日、南あわじ市西淡社会教育センターグラウンドに防風用の柵を寄贈しました。

平成十六年九月の台風二三号により、同グラウンドの周りに設置されていた柵の大半が破損。海からの風により砂

浜のゴミがグラウンドに入り、グラウンドの砂が飛ばされたりすることから、同会が設置しました。柵は農業用の防風ネットを木杭で支えています。高さは約一五〇cm長さ約一五〇mで、二m間隔に杭が一本ずつ立てられています。



▲波戸さんが寄贈・設置した防風用の柵

## 総合計画審議会から答申

## 南あわじ市総合計画

南あわじ市の今後十年間のまちづくりの指針を定める「南あわじ市総合計画」の素案がまとまり十一月十五日、



▲中田市長に総合計画の素案を手渡す由井会長（右）

市総合計画審議会（由井淳裕会長、二十人）から中田勝久市長に答申されました。また、「行って楽しい、住んで快適」なまちの実現をめざした提言書も提出されました。

同審議会では、昨年十月に市からの諮問を受け十回の審議会を開催して素案を作成しました。素案では、「食」がはぐくむ ふれあい共生の都市」を将来像として定めています。施策目標として、市民自ら地域の魅力を知って全

国にPR、ふるさと資源を活用、安全でおいしい食材を地元で消費、祭や伝統文化を語り継ぐ、災害に対する意識を高めるなど十九項目を選択。効率的な市政運営を図るため、「まちのあるべき姿」を示すとともに、具体的数値目標が掲げられています。

由井会長は「恵まれた自然美や歴史遺産、すばらしい食材などを生かして観光客を増やして産業の発展につなげること」を強調されました。

## あなたに合わせた健康プランづくり

## メタボリックシンドロームの改善教室

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の方を対象に「メタボリック改善教室」を保健福祉センターで開催しています。十月二十七日には、同教室の「健康増進プランづくり」が開催され、

四十二人が参加しました。同症候群は、腹囲男性八五cm、女性九〇cm以上に加え、高血糖、高脂血症、高血圧のうち二つ以上に当てはまる場合を指します。町ぐるみ健診の九千五百二十八人の受診者

のうち、約十九%が同症候群に該当していました（二十二頁に関連記事）。

これらの人を対象にした同教室は、九月から開催され、五十五人が受講しています。この日は、問診と身体測定、握力や足の筋力を測定してその数値をパソコンに入力。現在の運動や食事、生活のバランスが種類別に五段階に評価、それぞれの改善ポイントを示したプランが自動作成されました。保健師からもプラ



▲ストレッチ体操の指導を受ける参加者

ンに基づいた、生活指導がありました。

## 年金日より 現況届の提出が不要になります

国民年金や厚生年金を受けている方は、毎年誕生日に現況届をご提出いただいておりますが、今後は、住民基本台帳ネットワークシステムを活用して現況確認を行うこととなり、原則として現況届の提出が不要となります（12月の誕生日を迎える方から）。

## 次に該当する方は 現況届の提出が必要です

- ・ 社会保険庁で保有している本人基本情報と住民基本台帳ネットワークシステムの情報が相違し、住民票コードを確認できない方（住民票コードを確認できなかった方には、社会保険庁からその旨をお知らせします）
- ・ 住民基本台帳ネットワークシステムに参加していない市町村にお住まいの方
- ・ 外国籍（外国人登録）の方
- ・ 外国にお住まいの方

## 加給年金額対象者の生計維持確認や診断書の提出は引き続き必要です

- ・ 加給年金額を受けられるかどうか生計維持の確認が必要な方は、社会保険庁から送付する「生計維持確認届」を提出してください。
- ・ 障害の程度を確認するため医師による診断書が必要な方は、社会保険庁から送付する「診断書」を提出してください。

## 年金出張相談

▽日時 12月1日（金）  
午前11時～午後3時

▽場所 南淡公民館  
▽申込み 市民課  
☎43・5023

※提出がない場合、年金の支払いが一時止まります。  
☎0570・07・1165  
☎ねんきんダイヤル

## ふれあい市長室

## 安全対策は地道な取り組みと個々の努力から

南あわじ市長 中田勝久

秋のスポーツ・文化芸能など数々の事業へのご参加、ご活躍に感謝申し上げます。三位一体改革をはじめ国・県の施策の影響や市が抱える数多くの課題により、行財政改革を断行するために、予算が極端に縮小傾向にあります

が、将来の基礎づくりとなる少子化対策や市民の命を守る防災対策などの重要課題には積極的に取り組まなければなりません。

そのためには、市長として、国や県に太いパイプを持ち、現場の状況や意見を伝え、本市の行政運営に役立てることも大きな責務の一つです。先日、中川自民党幹事長にお会いしてまいりました。武部前幹事長や西村衆議院議員など国会議員の先生方にもお世話になり、国土交通省へは東南海・南海地震・風水害防災対策として各種事業の対応を繰り返しお願いしております。幸いにして、福良湾対策を

国・県・市が共に力を注ぎ具体的な施策を検討してまいった福良湾津波対策検討委員会からの提言として一定の方向性が出ました。防潮堤の遠隔操作や情報の収集伝達を行い避難高台を兼ね防災研修等多目的利用ができる津波防災ステーションの建設や防潮堤の延伸、自主防災組織の構築をはじめとする「津波による死者ゼロ」を目標とした住民の防災意識を高める対策、福良地区で行う防災対策が全国にモデルとなる仕組みづくりなど、ハード・ソフト事業両面にわたる協議内容がまとめられます。ケーブルテレビによる屋内外告知システムや携帯電話を活用した迅速な情報伝達など推進しなければなりません。万一の災害復興対策の一環である県のフェニックス共済について、県下で最大の被害が予想される本市の加入率が低く、是非ともご加入下さいますようお願いいたします。